卒業生よりのメッセージ

就職活動中の後輩たちへのアドバイス

自分の専門分野が社会でどのように活かせるのか 可能な限り早めに把握することの重要性

私自身が就活の中で痛感したことです。自分の専攻分野と企業で求められる専門知識・技能の関連性をあまり考えていなかったため、畑違いの業界や職種を受けては不合格となることを繰り返していたので、後輩には私の轍を踏まぬよう、指導教員や研究室の先輩などから、今自分が研究している分野の応用先についてアドバイスを受けてよく考えるように伝えたいと思います。

(本学卒業生・匿名希望)

自分自身の可能性を限定しない

私の経験から言えることとして、自分自身の可能性を限定しないことをお勧めします。

研究においては特定領域の非常に狭い問題を扱うこととなりますが、研究を通して培うことのできる能力には広範な応用があるはずです。研究テーマの背後にある自分自身の興味・関心を洗い直し、多くの業界や会社をその観点から検討してみましょう。

就職活動は辛いことも多いですが、自分自身の可能性を広げるステップとしてしっかり取り組む価値のあるものだと思います。皆様の健闘を祈ります。

(本学卒業生・匿名希望)

自分の研究をしっかりと情熱をもって行っていることが前提となる

【ポスター】

就活を始める際に、自分のアピールポイントや研究内容、取得スキルなどをまとめたA4サイズのポスターを作製した。説明会や面接などでまず最初にこのポスターを名刺として提示し、自分を印象付けた。

ポスターはパッと見で内容が理解できるようにシンプルに。名前と、特技と、海外発表経験や共同研究経験などを目立たせるとよい。

研究内容はたいして理解してもらえないので、企業受けの良い言葉を目立たせ、図を大きく載せる。グラフよりも写真がいい。色が多いと目を引く。

「資料持ち込み可」と書いていなくてもとりあえず出してみる。大体受け取ってもらえるし、印象がかなり良い。

【説明会】

大規模な企業説明会には行ってない。
名前と顔を覚えてもらえない説明会はお金と体力と時間の無駄だ。
東大は説明会が豊富なので、それにだけ顔を出していれば十分。
あとは個別に連絡を取ったほうが良い。

ちなみに1月にY国立大学で行われる博士用イベントはおすすめ。
上述したポスターを印刷する必要がある、企業の人事や所長クラスの人と直接話せる。
私はこのイベントでS製作所の方と親しくなり、食事に行き、2次面接まで免除された。

【筆記試験】

準備の必要なし。私は何もしていない。
Web受験の場合、どうやら学歴によって問題の難度が変わるらしく、東大はかなり難しい問題が出るときがあるが、たいていの場合には結果を重視していないので気にしなくてよい。
H社のWebテストは、お手上げ状態になるほど難しく、ほとんど解けなかったが受かっていた。

【面接】

とにかく元気よく。目はいつもより開き、声は1.5倍増しくらいの気持ちで。面接官も人間なので、楽しい人と一緒に仕事をしたいと考えるのは自然。私は前日に美容室に行き、おすすめの髪形にしてもらって、当日は根拠のない自信を抱いて臨んだ。

普段しっかりと研究について考えていれば、たいていの質問には難なく答えられる。基本的に専門外の方が聞くので、思ってもみない質問が来る。研究に関する質問で、鋭い質問が飛んできて、その質問に対する答えを持っていない場合、「大変良い質問です。この問題には私も頭を悩ませていまして……残り1年で解決したいです」と、濁しつつ正直に話すのが良い。大事なはその問題を把握しており、解決する意思があるというアピール。

【質問】

面接最後の質問には、有価証券報告書のデータを持ち出すとよい。売り上げの伸びている商品。下がっている商品。今後力を入れようとしている分野。質問する内容は無限にあるし、何より有価証券報告書を読んでいるというのはその企業に対して興味を持っているという強いアピールになる。

(内定者アンケートより)